（1）FFJ 検定「特級」の受検に必要な書類と手続きの方法

1　FFJ 検定「特級」は、FFJ 検定基準により、各県連盟より推薦されたものを審査し、授与するものです。

2　特級審査は、文部科学省、常任顧問校長等で組織される日連特級検定委員会において行います。

3　特級検定は、県連盟から推薦された受検者の業績を示す記録や証明書類等をもとに、審査します。

4　県連盟及び一単位クラブからの推薦者数に、制限はありません。

5　審査に必要な提出書類等は、次のとおりです。

（1）クラブ員が準備するもの

①FFJ 検定「特級」願書（様式Ⅰ）

②プロジェクト報告書

プロジェクトの成果を、Ａ４判１０枚程度（添付する写真・図表・グラフ等も含む）にまとめたものをパソコンで作成する。（別紙（２）FFJ 検定「特級」の出願方法および（３）プロジェクト報告書のまとめ方参照）

③要旨書

④受検手数料　　２，０００円(郵便為替)

クラブ員はこれらの書類を一括して、所属する単位クラブに提出する。

（2）単位クラブが行うこと

推薦書（様式Ⅱ①②）

個人ごとに作成し、必要事項を記入する。

書類は、上記（１）①②③と上記（２）の推薦書①②を原本として１部、そのコピー１０部を作成し、原本と合わせて、１１部を県連事務局に提出する。

（3）県連事務局が行うこと

①FFJ 検定「特級」受検者一覧表の作成・・・・・（様式Ⅳ）

②各県連盟事務局は、各単位クラブから提出された書類をもとに審査を行い、県連盟代表は、推薦書の原本のみに記名押印し、FFJ 検定「特級」受検者一覧表、FFJ 特級願書、推薦書、報告書、要旨書、手数料を添え、コピー１０部と共に、日本学校農業クラブ連盟事務局宛に提出する。

＜送付先＞　〒１０２－００７４

東京都千代田区九段南４丁目３－３

シルキーハイツ九段南２号館１０４号室

日本学校農業クラブ連盟事務局　宛

ＴＥＬ　03-5357-1661　ＦＡＸ　03-5357-1667

＊「ＦＦＪ検定特級願書等在中」と朱記する。

6　受検書類の提出は、令和３年９月３日（金）必着とする。

7　審査結果については、日連代表が各県連盟を通じて受検者に通知するとともに、機関誌リーダーシップに合格者を掲載します。検定に提出した書類は返却しませんのでご注意ください。

8　その他、受検者がいない場合は県連盟でまとめて、別紙（７）受験者数報告様式（様式Ⅴ）を日本学校農業クラブ連盟事務局（jimu@natffj.org）までメールにてご報告ください。

(2)FFJ 検定「特級」の出願方法

プロジェクト報告書

●プロジェクト報告書は、A4 版横書き、片面印刷 10 枚程度に**パソコンで入力し**、まとめる。
●図、表、写真なども、必要に応じて縮小するなどの工夫をし、報告書の 10 枚に含めること。
●報告用紙は、プレゼンテーションソフトなどの発表様式などを使用せず、図、表などは見やすくまとめること。
●表紙は作らない。1 枚目のはじめにテーマ、学校名、氏名を書くこと。
●FFJ 検定「特級」申し込みには、プロジェクト報告書と要旨書を作成して提出する。
●FFJ 検定は個人を対象に審査するので、プロジェクト報告書は、各自が報告書を作成する。
●グループでの共同研究の場合は、自分が共同研究のなかでどこを担当したかを明記し、取り組み、実践した部分をまとめること。同じ報告は認めない。

FFJ ファイル

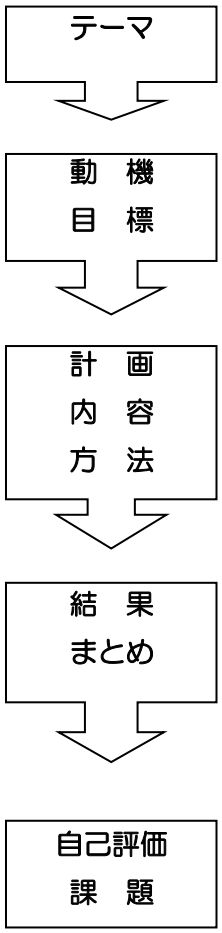
●農業クラブ活動の記録は、FFJ ファイルによくまとめること。
●特級受検の際、ファイルの点検や審査は県連盟で行うこと。

手続きの方法

手続きの流れ	解説
クラブ員が行うこと	FFJ 検定［上級］取得者のなかで、特級受検にチャレンジしたいクラブ員は、所定書式の検定願書、プロジェクト報告書、要旨書及び検定手数料を添えて単位クラブに提出する。＊提出した書類は返却されないので注意すること。
単位クラブで行うこと	単位クラブでは、個人ごとに**推薦書を A4 判所定様式で作成**する。さらに書類は原本１部とそのコピー１０部（検定願書・プロジェクト報告書・推薦書・要旨書）を作成する。コピーは、A4 判用紙を使用する。 **※所定の用紙を使用しない物は、受領できない。** ＊コピーのとじ方 ①推薦書は、A4 判片面印刷２枚にすること。 ②検定願書、推薦書、要旨書、プロジェクト報告書の順にまとめて、とじること。 ③とじる位置は、左上１ヶ所とする。
県連盟事務局で行うこと	県連盟事務局では、単位クラブから提出された書類をもとに、審査を行い、県連盟代表者は推薦者の原本のみに記名押印し、特級受検一覧表を添えてコピー１０部とともに**日本学校農業クラブ連盟事務局宛**に提出する。 ＊県連盟事務局は、検定委員会を開き、必ず受検者の審査を実施すること ＊活動の記録である FFJ ファイルの点検や審査は県連盟で行うため、FFJ ファイルは日連へ提出しない ＊提出書類に不備がないように再点検すること

(3)プロジェクト報告書のまとめ方

プロジェクト報告書は、研究論文のスタイルでまとめましょう。研究論文の基本的な形式は、序論・本論・結論の順で構成されます。下記のように、項目を立てて構成します。



研究の課題や題名

研究に取り組んだ理由「はじめに」「まえがき」「研究の動機」など
この研究で解決したい課題の目標「研究の目的」「研究の目標」など

研究を進めるための計画「研究の計画」
研究の内容や方法（具体的に書く）「実験の材料と方法」「研究方法」など

実験や調査の結果「結果」「研究結果」など
研究のまとめ（結果を科学的に分析・判断する）
「まとめ」「考察」「結論」

研究活動を振り返って自己評価と、次回の研究で解決したい課題など
「今後の活動」「終わりに」など

研究内容によっては、構成や展開がこの例とは違ってくる場合もありますが、いずれにしても研究の全体像が捉えやすいように、図表や写真をまじえて、分かりやすく、また自分の言葉で表現し、書くことが大切です。そのため、ワープロ原稿やグラフ・表の作成は、パソコンを使って、作成しましょう。また、図や写真は必要に応じて縮小するなど工夫をして、オリジナルのプロジェクト報告書を作成しましょう。

報告様式はプレゼンテーションソフトの様式をそのまま使用するのではなく、見やすい報告書の作成に取り組みましょう。

(4)FFJ 検定基準

1　目的　　FFJ 検定は、節目を設けて日頃の学習ならびに学校農業クラブの実践で得られた成果を確認し、クラブ員が相互に協力してかつ競い合う中で向上心を養い、学校農業クラブの目標である科学性・社会性・指導性を高めようとするものである。

2　検定基準

		初　級	中　級	上　級	特　級
科学性	プロジェクトなど	入門的プロジェクトを行い、正しい記録を残している。	プロジェクトに熱心に取り組み、努力、発展の跡がみられる。 （職業的資格取得をもって替えることも可）	プロジェクトに熱心に取り組み、その内容、成果のまとめともしっかりしている。 （職業的資格取得をもって替えることも可）	プロジェクトの成果が上級取得者の中でも特に優れている。 （職業的資格取得をもって替えることは不可）
	専門科目に関する知識	１年生で学ぶ基礎的知識を理解している。	検定実施までに学ぶ知識の習得状況が良好である。	検定実施までに学ぶ知識の習得状況が優秀である。	
社会性・指導性	農業クラブ活動への理解と参加	○学校農業クラブの目的を理解し、単位クラブの会則や年間計画等を把握している。 ○単位クラブの行事に参加し、その記録を残している。	○日本学校農業クラブ連盟の歴史や現状、会則、行事内容などの要点について把握している。 ○農業クラブ活動の中でクラブ員としての責任を積極的に果たしている。	リーダーシップを発揮し実績を上げている。 （①～③のいずれかに該当する） ①単位クラブ内で他のクラブ員の模範となる働きをしている。 ②役員などで県連盟以上の会議、研修会などの参加実績がある。 ③単位クラブの代表として発表会、競技会などへの参加実績がある。	上級取得者の中でも活動実績が顕著である。
標準検定時期		１学年の３学期	２学年の２～３学期	３学年の１学期	３学年の 10 月初旬
検定実施機関		単位クラブ		県　連　盟	日　　連
提　出　物		各検定実施機関の指定するもの （日連が発行している「FFJ ファイル」を使用することが望ましい）			検定願書、プロジェクト報告書、受検手数料、推薦書、受検者一覧、要旨書
備　　考		１．中級および上級の受検にかかわり、初級および中級の取得者であることを条件とするか否かは県連盟で定めることとする。 ２．プロジェクトの成果に代替し得る職業的資格の範囲や区分については県連盟で定めることとする。			県連盟は、上級取得者から、一層の成長が期待できる者を推薦すること。

(5)申し込み様式一式(様式Ⅰ～Ⅲ)

（様式Ⅰ）

受付 NO.＿＿＿＿＿＿

FFJ 検定【特級】願書

私は、この検定を受検しますので、ここに関係書類を添えて提出します。

ブ ロ ッ ク 名	ブロック	県 連 盟	
単 位 ク ラ ブ 名	高等学校	所属科名	科
単位クラブ所在地	〒　　― 都 道 府 県　　市・郡 電話（　　）　　―　　FAX（　　）　　―		
フ リ ガ ナ 生 徒 氏 名 生 年 月 日	 平成　　年　　月　　日	分野	□Ⅰ類（生産・流通・経営） □Ⅱ類（開発・保全・創造） □Ⅲ類（ヒューマンサービス）

上記の生徒が FFJ 検定「特級」に出願することを認め申請します。

令和　　年　　月　　日

記 載 責 任 者（指導担当教員）	氏 名	㊞
クラブ員所属学校代表者 （単位クラブ学校長）	氏 名	職印

日本学校農業クラブ連盟特級検定委員会　様

（様式Ⅱ）①

推　薦　書

ブ ロ ッ ク 名	ブロック	県 連 盟	
単 位 ク ラ ブ 名	高等学校	所属科名	科
単位クラブ所在地	〒　　― 都 道 府 県　　市・郡 電話（　　）　　―　　FAX（　　）　　―		
フ リ ガ ナ 生 徒 氏 名 生 年 月 日	 平成　　年　　月　　日	分野	□Ⅰ類（生産・流通・経営） □Ⅱ類（開発・保全・創造） □Ⅲ類（ヒューマンサービス）

農業クラブ活動の取り組み状況の詳細を記載

1．FFJ 検定取得年月日	初級	令和　　年　　月　　日
	中級	令和　　年　　月　　日
	上級	令和　　年　　月　　日

内容・成果	2．プロジェクトの内容・役割
	3．プロジェクトの実績と成果の概要

注意：共同研究の場合には、各個人の役割と成果、評価を記入すること。

パソコンで作成し、A4 判の用紙に片面印刷すること。

（様式Ⅱ）②

No.＿＿＿＿＿＿

貢献・活動・成績	4．農業クラブへの貢献（役職名・地域社会への貢献も含む） □単位クラブ会長・単位クラブ副会長・ブロック連盟会長・ブロック連盟副会長・日連代議員・日連常任理事・日連理事・日連監事 □単位クラブの本部役員（書記、会計、幹事、監事など）・単位クラブの専門分会・地域分会・学級分会などの長 □その他
	5．上級取得後の活動状況（特級取得にふさわしい活動を含む） □ボランティア活動・地域活動等について、中心となって企画運営し活動した。 □農業クラブに関する行事について、企画運営に参画し活動した。 □その他
	6．農業クラブの各種発表・競技などへの出場実績と成績 □全国大会入賞（最優秀、優秀）・ブロック大会入賞（最優秀、優秀）・県連大会入賞（最優秀） □全国大会出場（クラブ員代表者会議を含む）・ブロック大会出場・県連大会入賞（優秀）・農業クラブ以外の競技会での優秀な成績と認められたもの □その他
その他	7．特記事項があれば記入する（国際交流活動や資格取得） （例）派米実習、海外研修に参加した、外国の人を受け入れた、漢字検定２級合格、農業技術検定２級合格

以上の内容をもって、FFJ 検定【特級】の受検者に適格であると認め、この生徒を推薦します。

令和　　年　　月　　日

記　載　責 任 者（指導担当教員）	氏　名	㊞
クラブ員所属学校代表者 （単位クラブ学校長）	氏　名	職印

令和　　年　　月　　日

県 連 盟 代 表 名	氏　名	㊞

日本学校農業クラブ連盟特級検定委員会　様

（様式Ⅲ）

要　旨　書

題　　名			
単位クラブ名	高等学校	所属科名	科
フリガナ 生徒氏名		分　野	□Ⅰ類（生産・流通・経営） □Ⅱ類（開発・保全・創造） □Ⅲ類（ヒューマンサービス）

＊注意：要旨は、A4 判１枚に収めること。

目的	
方法及び内容	
結果及び考察	
まとめ	